

## カチオン系下地不陸調整剤

**業務用**

### タケモルカチオン EV (乳剤)

#### タケモルフィラー-A-1 (防水下地用セメントフィラー：ローラー塗り)

#### タケモルフィラー-A-2 (不陸調整用セメントフィラー：コテ塗り)

**タケモルカチオンEV**は、カチオン系モルタル混和剤です。専用セメントフィラー（タケモルフィラー-A-1またはA-2）と混合することによって、モルタル下地に強固な接着を示す、**強粘で耐水性に優れた樹脂モルタル**を形成します。

完全硬化後の樹脂モルタルは、**遮熱系プライマー**との接着にも優れ、**防水層**や、**床面の下地**などの下地調整に適します。

防水下地用 1～2mm厚適用 1mm塗膜仕上げ/約1.0㎡

【施工例】	標準塗布量
①下地の清掃/レイタンスや油分の除去	
②タケモルカチオンEVに同量の清水（水道水）を加え混合した希釈液の塗布	<b>0.3kg/㎡</b>
③乾燥後（晴天時20℃で約2時間以上養生後）	
①-1 約1～2mm程度の <b>強い不陸</b> の場合は、 <b>タケモルフィラー-A-1</b> を使用します。	約 <b>5kg/㎡</b>
配合比	
タケモルカチオンEV	3kg
清水（水道水）	7kg
タケモルフィラー-A-1	20kg
（手順）混合には、モルタル混和に適したハンドミキサーをご使用ください。 タケモルカチオンEVと清水を混合し、混合しながら、タケモルフィラー-A-1を徐々に加えてゆきます。ローラー、コテで仕上げます。 十分に硬化してから、防水材等の塗装を始めます。 さらに、プライマー等を塗布するには、 <b>乾燥期間 夏2日 冬4日</b> が必要です。	

不陸調整用 2～5mm厚以上 3mm塗膜仕上げ/約3㎡

【施工例】	標準塗布量
①下地の清掃/レイタンスや油分の除去	
②タケモルカチオンEVに同量の清水（水道水）を加え混合した希釈液の塗布	<b>0.3kg/㎡</b>
③乾燥後（晴天時20℃で約2時間以上養生後）	
①-2 約2～5mm程度の <b>強い不陸</b> の場合は、 <b>タケモルフィラー-A-2</b> を使用します。	約 <b>5kg/㎡</b>
配合比	
タケモルカチオンEV	2kg
清水（水道水）	2～4kg
タケモルフィラー-A-2	20kg
（手順）混合には、モルタル混和に適したハンドミキサーをご使用ください。 タケモルカチオンEVと清水を混合し、混合しながら、A-2を徐々に加えてゆきます。 コテで仕上げます。 十分に硬化してから、防水材・床材の塗装を始めます。 さらに、プライマー等を塗布するには、 <b>乾燥期間 夏2日 冬4日</b> が必要です。	

**荷重** タケモルカチオンEV (乳剤) **4kg (9.9磅)・18kg台**  
タケモルフィラー A-1 (専用セメントフィラー：防水下地用) **20kg**  
タケモルフィラー A-2 (専用セメントフィラー：不陸調整用) **20kg**

【ご注意】○段差が深い場合には、一度に埋めず、10時間以上の養生後に塗り重ねてください。

○プライマーを塗布するまでには、夏期で2日、冬期で4日以上養生が必要で。

○施工時の気温が5℃以下、または、降雨が6時間以内に予想される場合は、施工を避けてください。

○水の添加量は、作業性、仕上りモルタルの強度に影響しますので、配合比を守ってください。

○夏期は、日中の炎天下での施工は避け、早朝/夕刻の涼しい時間に施工願います。

**竹林化学工業株式会社**

大阪府東大阪市流町三丁目1-43

TEL:072-631-1111

- 【取扱い】 ○モルタル作成時には、直射日光を避け、使用する水は必ず水道水を使用して下さい。  
 ○使用した用具は速やかに水で洗浄して下さい。  
 ○タケモルカチオンEVの乳液がこぼれた場合には、布や、乾掃帚に染み込ませて回収して下さい。  
 ○取扱い後は、必ずうがいを行い、石鹸等で手洗いをして下さい。
- 【吹き付け】 ○皮膚に付着した場合は、すぐに拭き取り、石鹸水で洗い流して下さい。  
 ○Eに入った時は、ただちに多量の水で洗眼し、医師の診断をうけてください。  
 ○誤って飲み込んだ場合には、すぐに医師の診断を受けてください。
- 【保管】 ○容器は確実に密閉し、直射日光、雨、結露を避け、5～40℃の冷暗所に、一定の場所を保管ください。
- 【廃棄】 ○廃液はみだりに、河川、溝等に流さずに、産業廃棄物として処理して下さい。  
 ○容器は、中身を使い切ってから、産業廃棄物として処理して下さい。

**詳細な内容が必要な場合には、カタログ又は、製品安全データシートをお読みください。**

### タケモルカチオンEV作成のカチオンモルタルの物性

物性値：作成材料は、高温（20℃/RH60%）5日間養生

タケモルフィラー（A-2）+タケモルカチオンEV+水

〔混合比〕 20 : 2 : 4〕 = 重量で計量

試験項目

試験項目		（タケモルカチオン+フィラー+水）混合モルタルの物性		
一般特性	比重（20/20℃）	1.63		
	可使時間（分）	20℃/ 40～60以内		
	硬化時間（時間）	始凝 12	JIS R 5201に準ず*	
		終凝 15		
物性	曲げ強さ	( kg f/cm <sup>2</sup> ) 90	JIS R 6203に準ず*	
	圧縮強さ	( kg f/cm <sup>2</sup> ) 200	○	
	透水性	( g ) 4	○	
	密着強さ ( kg f/cm <sup>2</sup> )			
	状態	モルタル板	12/B 材破壊	○
		スレート板	5/A 材破壊	○
		砂つきアスファルト	5/A 材破壊	○
	浸水後	モルタル板	15/A 材破壊 (浸水条件 JIS A 6910)	
冷温繰り返し	モルタル板	20/A 材破壊 (冷温繰り返し条件 JIS A 6910)		

タケモルカチオンEV品質規格と成分

品名	タケモルカチオンEV
成分	エチレン酢酸ビニル共重合体カチオン系エマルジョン増粘剤

品質規格	項目	規格値	備 考
	外觀		乳白色エマルジョン
不揮発分		5.5%	
酸・アルカリ度		6.0	PH計による
イオン度		カチオン	
粘度		3000～7000	センチポイズ（20℃）
比重		1.08	（20/20℃）
機械安定性		良好	
化学安定性		良好	

法規制： 消防法 ・危険物 該当せず  
 毒物取締法 ・毒性物なし 該当せず  
 労働安全衛生法 ・乳剤 該当せず  
 プレミックスセメント 該当  
 予防=防護マスク